



数字から読み解く！ オフィスデータ活用術

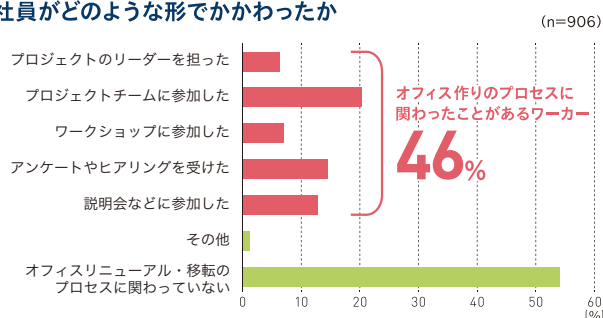
総務以外の一般社員は、 オフィス作りにどのくらい参加しているの？

オフィスの移転・リニューアルは総務部門にとってビッグプロジェクトです。

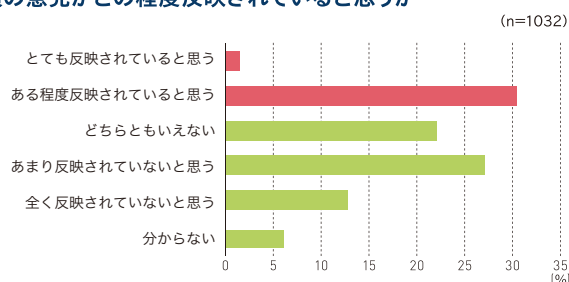
経営陣と総務が中心となって検討することが多いですが、近年は総務関連部署以外の社員（以下、一般社員）の意見を聞いてオフィス環境の改善を試みる企業も増えています。では実際にオフィス作りに一般社員はどのくらい参加しているのでしょうか？

一般社員の回答： 約5割の社員が参加経験あり

■一般社員がどのような形でかかわったか



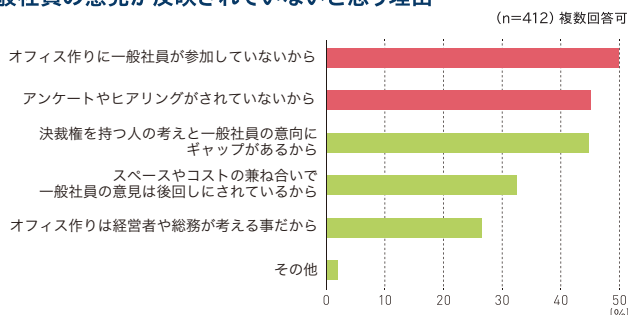
■一般社員の意見がどの程度反映されていると思うか



約5割の一般社員が、オフィス作りに参加、2割以上の社員がプロジェクトチームに参画したことがあると回答しました。

ただ、一般社員の意見が反映されていると感じている人は約3割と多くないようです。

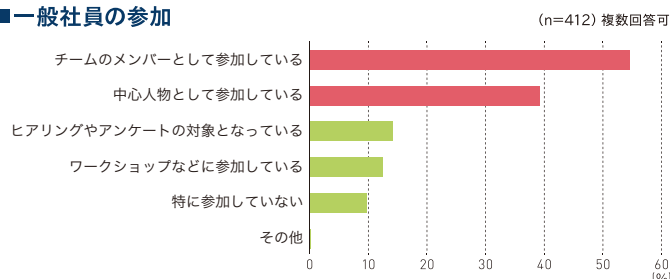
■一般社員の意見が反映されていないと思う理由



「なぜ意見が反映されていないと思うか」という質問に対して「オフィス作りに一般社員が参加していないから」「アンケートやヒアリングがされていないから」という回答が多く、一般社員自身が「オフィス作りへの参加が重要」と感じていることがうかがえます。

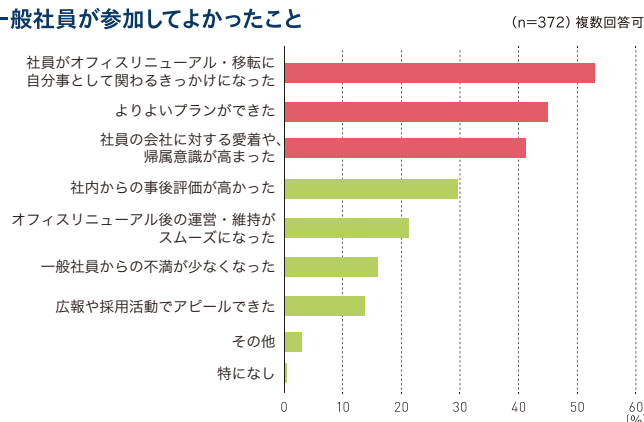
購買決定者（総務など）の回答： 約9割の社員が参加経験あり

■一般社員の参加



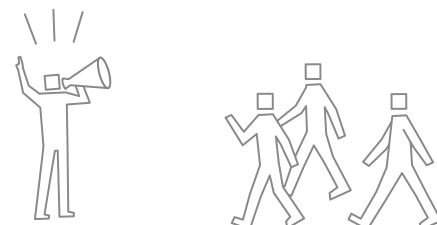
一方、購買決定者に同様の質問をしたところ、5割以上の一般社員が中心人物やチームメンバーとして主要な役割を担っていると回答。ワークショップやヒアリング・アンケートなども含めると、約9割で一般社員の参加があるという結果になりました。

■一般社員が参加してよかったこと



一般社員がオフィス作りに参加することによる効果は、ほとんどの方が感じています。「社員の会社に対する愛着や、帰属意識が高まった」という回答が4割に上り、移転・オフィスリニューアルの際に、一般社員の参加を効果的に実施することで、会社への求心力が高められると感じていることが分かりました。

購買決定者は一般社員の参加に効果を感じつつも、一般社員は意見が反映されていないと感じているというギャップがあるのかもしれませんが、また必ずしも社員の要望がすべて反映できるわけではなく、経営の意思としてあえて異なるオフィス作りをすることもあることが要因の一つとも考えられます。しかし、社員に納得感のあるプロセスを経ることで、オフィスリニューアルの価値を最大化できるのではないのでしょうか。



Office Renewal お客様の声

株式会社

ジャパンライフデザインシステムズ 様

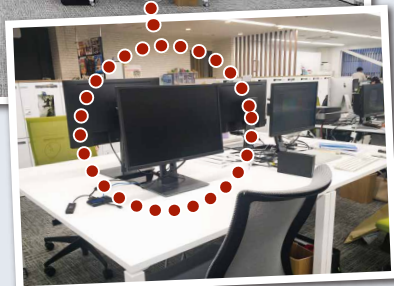
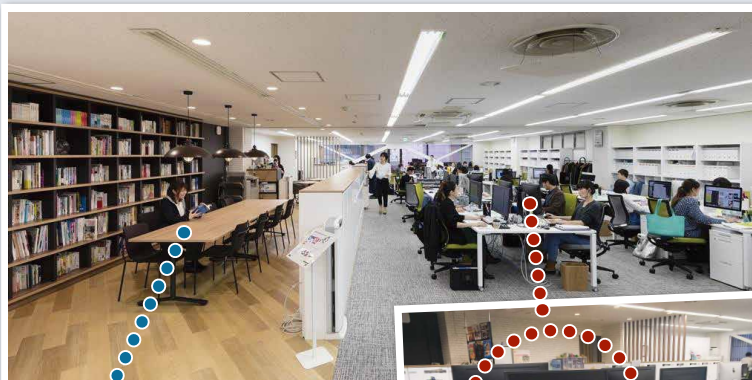
リニューアルの狙い

- 社内コミュニケーションを活性化し知的生産性を向上させたい。
- 各職種の業務内容に応じた仕事をしやすい環境にし、時間当たりの業務効率を向上させたい。

自席に捉われず気分や作業に応じた空間を選べるようにフリーアドレスを導入。

以前、フリーアドレスを導入した際、1年後に固定席化してしまい、失敗に終わった。

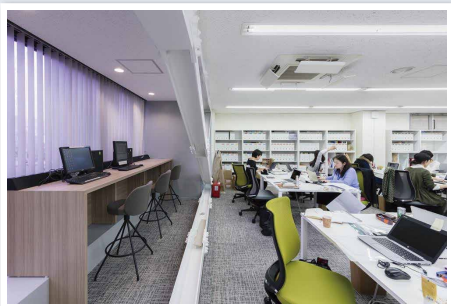
今回は、全社員が参加しディスカッションを重ねることで見えた、働き方のイメージを具現化。また段階的な導入により、無理なくフリーアドレスへ移行することができた。



デザイナーのフリーアドレスエリアには作業効率の良い大型モニターを設置。

耐震ブレースと窓面の間の空間を活用した集中ブース席

一人での集中作業に最適な席。耐震ブレース設置によるデッドスペースを有効活用。



ライブラリーへ共用資料を集約しスペースを効率化

天板の広いテーブルで、資料を広げての作業をやすく。執務エリアと内装を変化させることで、気分を変えて執務をしたい時に便利。



ライブラリーに併設されたカフェは気分転換やコミュニケーションの場として多目的に使用できる空間。



自席を決めるボードを入り口に配置。誰がどこにいるのかを分かりやすく。

携帯電話の支給や社内SNS、チャットを導入し、誰がどこにいても情報共有ができるようにした。



検索性を重視したオープン収納庫

書類や進行中プロジェクトの資料を入れる収納庫は全てオープンに。



プロジェクトごとにラベルを色分けし、検索性を向上。



出し入れしにくい最上段には防災用ヘルメットを収納。美観を意識し、意匠性の高いボックスを採用。



フリーアドレスでコミュニケーションの機会が増えたことにより、今まで交流が少なかったプロジェクト同士のコラボレーション企画が実現！今後もこのようなイノベーションを起こしていきたいです。

今後は社内だけではなく社外でも働ける環境を整備するためにテレワークを実験中。まだまだ課題はありますが、本格導入を目指し邁進していきます。



『部門を越えたコミュニケーションが活性化されるしかけ』と『ひとりひとりのポテンシャルを最大限に引き出せる環境』により新たなアイデアが創出されるオフィスへ。

お客様情報

株式会社ジャパンライフデザインシステムズ

所在地 | 東京都渋谷区南平台町15-13 帝都渋谷ビル7F

設立年 | 1981年7月10日

職員数 | 72人(2016年3月現在)

事業内容 | 生活者研究に基づくマーケティング戦略およびコミュニケーション戦略の立案・実施